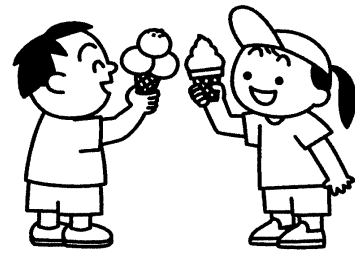


## ●どんな実験・工作なの？

冬に雪が降ったり雨が降ったりして路面が凍結したとき、塩をふりかけると、氷が融けてドロドロになり、車のタイヤはスリップしなくなります。

氷の融ける温度は0℃ですが、氷に塩を混ぜると0℃よりも低い温度になります。このように、低い温度を作り出す混合物を「寒剤（かんざい）」と言います。たとえば、氷30gに塩を10g加えて混ぜると、マイナス20℃ぐらいまで温度が下がります。この現象を利用して、手早く簡単にアイスクリームを作りましょう！



## ●実験の仕方とコツ

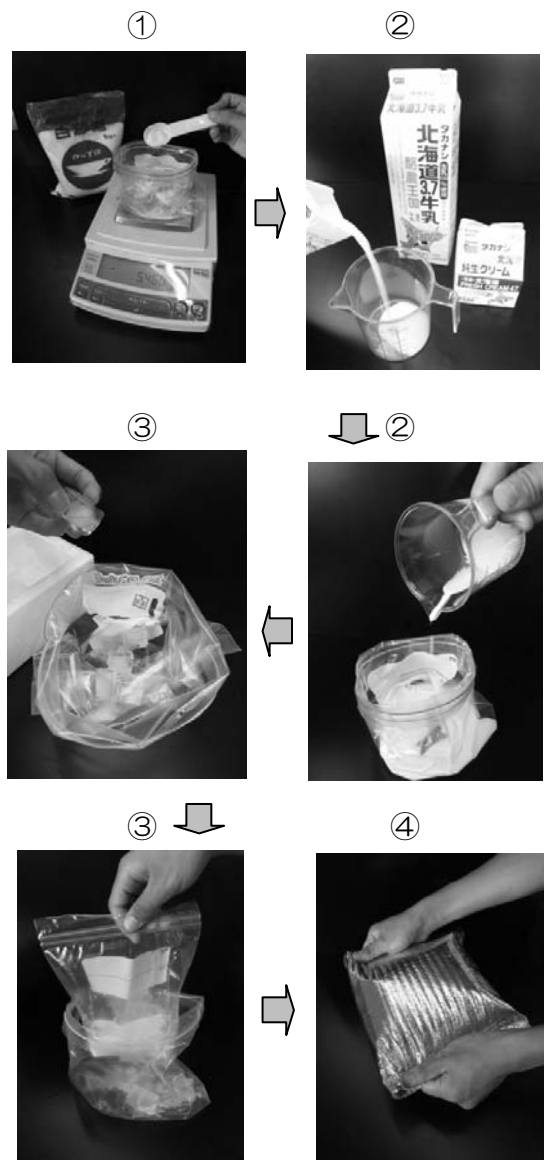
① てんびんで砂糖10gをはかり、保存パック（小）に入れます。

② 計量カップで牛乳90mL、生クリーム10mLをはかり、①の保存パック（小）に入れて軽くかき混ぜます。その中にバニラエッセンスをひと振り入れ、少し空気が入った状態でしっかりと口を閉じます。

③ 氷10個程度と、食塩を大さじ5杯を保存パック（大）に入れ、軽く振って混ぜ合わせてから、②で準備した保存パック（小）を入れ、しっかりと口を閉じます。

④ できあがった保存パック（大）を発砲スチロールケースまたは断熱シートでしっかりと包み、両手で持って10分間軽く振り続けます。

⑤ 10分経過したら、保存パック（大）を開けて、中の保存パック（小）を取り出し、できあがったアイスクリームを食べてみましょう。



## ●気をつけよう！

※ 牛乳と生クリームは、使ったら口を閉じておき、冷蔵庫で保管しましょう。

※ 実験前には手をよく洗いましょう。

※ 寒剤を直接手で触るときは、低温やけどに注意しましょう。

## ●もっと詳しく知るために

水戸短期大学附属高等学校（2012年度より水戸啓明高等学校に校名変更）のホームページから自然科学研究部にアクセスしていただくと、実験の様子や実験データをご覧いただけます。

<http://www.suitan.ed.jp/index2.html>

